

～下記の研究を行います～

『好中球減少の遷延で G-CSF 製剤の投与期間が長くなる患者背景因子の検討』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】好中球減少の遷延で G-CSF 製剤の投与期間が長くなる患者背景因子の検討

【研究責任者】富島 公介

【研究の目的】

抗がん化学療法施行後に骨髄抑制の副作用として好中球減少が遷延することがあり、G-CSF 製剤を使用し好中球の回復を早めるが、その時間にはばらつきがあり、G-CSF 製剤の投与期間が一定しない。そこで京都第一赤十字病院において G-CSF を投与された患者さんの背景と G-CSF 投与期間について調査をおこないます。

【研究の期間】研究許可日～2020 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

京都第一赤十字病院の血液内科にて 2017 年 4 月から 2020 年 12 月 31 日までに悪性リンパ腫の治療として (R) CHOP 療法を施行された成人で、好中球減少に対してフィルグラスチムを使用した患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

性別、体重、年齢、体表面積あたりの用量、(R) CHOP 療法開始からの日数、フィルグラスチム投与前の好中球数、ST 合剤投与の有無等

【研究の資金源】

本研究は患者さんの背景データを後方視的に研究する内容のため費用は発生いたしません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反 (COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんが、利益相反については、当院の利益相反審査委員会で適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

京都第一赤十字病院 薬剤部
〒605-0981 京都市東山区本町 15-749

京都第一赤十字病院

TEL 075-561-1121 (代)

研究責任者 薬剤部 富島公介